

I 第5週の発生動向 (2016/2/1~2016/2/7)

1. インフルエンザについては、東地方+青森市保健所管内で**警報**が発令されました。八戸保健所管内では第4週から**警報**が続いています。また、弘前保健所、五所川原保健所管内で第3週から、上十三保健所、むつ保健所管内で第4週から**注意報**が続いています。
2. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で第1週から**警報**が続いています。
3. 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が解除されました。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、患者報告数が前週の82人から55人に減少しました。

II 第5週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	460	35.38	212	14.13	399	26.60	125	17.86	232	25.78	159	26.50	1587	24.42	219
小児科	RSウイルス感染症	1	0.13	1	0.11			1	0.20					3	0.07	-9
	咽頭結膜熱			1	0.11	8	0.80	1	0.20	5	0.83			15	0.36	6
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	1.75	15	1.67	18	1.80			7	1.17	1	0.25	55	1.31	-27
	感染性胃腸炎	33	4.13	18	2.00	19	1.90	10	2.00	19	3.17	17	4.25	116	2.76	-24
	水痘	3	0.38	1	0.11					3	0.50	2	0.50	9	0.21	1
	手足口病							4	0.80					4	0.10	0
	伝染性紅斑	3	0.38			1	0.10	2	0.40			13	3.25	19	0.45	-3
	突発性発しん	5	0.63	2	0.22	6	0.60			1	0.17	2	0.50	16	0.38	3
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ							1	0.20					1	0.02	0
流行性耳下腺炎	18	2.25											18	0.43	-14	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50	2	0.67	6	3.00							9	0.82	4
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00	1	1.00			1	1.00	3	0.50	-1
	無菌性髄膜炎															-2
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.00							1	0.17	0

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、弘前4人、八戸1人(2016年計:28人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

ジカウイルス感染症

2月15日から、四類感染症に指定されます!

ジカウイルス感染症は、ヤブカ属の蚊(ネッタイシマカやヒトスジシマカ)によって媒介されるジカウイルスによる感染症です。ジカウイルス感染症は、これまでアフリカ、中央・南アメリカ、アジア太平洋地域で発生があり、特に近年は中南米で流行しています。

2日~12日の潜伏期間の後、主な症状として、軽度の発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛などを呈します。これらの症状は軽く、2日~7日続いて治まります。予後は比較的良好で、死亡は稀です。有効なワクチンや治療薬がなく対症療法となります。ブラジル保健省が、妊娠中のジカウイルス感染と胎児の小頭症に関連がみられるとの発表をしており、現在、WHOで小頭症や神経障害とジカウイルスとの関連についての調査を行っています。

感染経路は蚊媒介性で、ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することでウイルスが感染します。ネッタイシマカは日本には常在していませんが、ヒトスジシマカは日本のほとんどの地域(秋田県及び岩手県以南)に生息しています。このことから、仮に流行地でウイルスに感染した発症期の人(日本人帰国者ないしは外国人旅行者)が国内で蚊に刺され、その蚊がたまたま他者を吸血した場合に感染する可能性は低いながらもあります。日本国内で感染した症例はありませんが、海外の流行地で感染し、発症した症例が2013年以降3例国内で見つかっています。

予防策として、海外の流行地へ出かける際は、長袖・長ズボンの着用等できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤(DEETを含むものが効果が高い)を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP(蚊の画像の出典を含む)



ネッタイシマカ



ヒトスジシマカ

V 県内インフルエンザ情報

第5週の患者報告数は1587人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1522人【A型：1414人、B型：108人】でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点
 (※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5
保健所名													
東地方					2					4	2	7	5
弘前			1			1	8	9	32	62	194	195	212
八戸							2	3	37	217	396	490	399
五所川原								6	14	38	84	84	125
上十三		1			1			1	16	35	89	178	232
むつ						2	11	2	6	24	40	86	159
青森市					1	5	23	14	37	83	264	328	455
合計	0	1	1	0	4	8	44	35	142	463	1069	1368	1587

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5
保健所名													
東地方					1					4	2	7	5
弘前			1			1	8	9	32	61	193	194	208
八戸							2	3	34	215	377	467	354
五所川原								6	14	37	84	82	125
上十三		1			1			1	14	34	80	159	202
むつ						2	11	2	6	22	36	60	98
青森市					1	5	23	12	37	82	252	307	422
合計	0	1	1	0	3	8	44	33	137	455	1024	1276	1414

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5
保健所名													
東地方					1								
弘前										1	1	1	4
八戸									3		6	10	10
五所川原												2	
上十三									2	1	8	16	22
むつ										2	4	26	61
青森市								2		1	6	9	11
合計	0	0	0	0	1	0	0	2	5	5	25	64	108

年齢区分別(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5
～5ヶ月											3	3	5
～11ヶ月									4	7	13	12	26
1歳							1	2	5	23	47	77	82
2歳							1	4	3	16	47	65	89
3歳							1	1	1	17	50	73	90
4歳								1	8	25	63	116	94
5歳							1	2	5	23	76	122	89
6歳							1	1	3	29	70	96	107
7歳					1	2	6	1		13	72	72	103
8歳							4	1	3	14	66	55	87
9歳						1	3		2	7	58	64	79
10～14歳					2		4	1	4	29	99	145	220
15～19歳					1	4	11	3	9	18	42	51	64
20～29歳							1	2	10	35	39	48	57
30～39歳		1					3	6	20	47	68	95	105
40～49歳						1	4	3	18	60	92	103	104
50～59歳							2	2	22	45	65	71	87
60～69歳							1	3	18	32	58	61	57
70～79歳			1					1	5	14	27	26	27
80歳以上								1	2	9	14	13	15

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第48週～2016年第5週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			播種性クリプトコックス症1人			
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	後天性免疫不全症候群1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人					
50	H27.12.7 ~ H27.12.13		侵襲性肺炎球菌感染症1人			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人	レジオネラ症1人				
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	アメーバ赤痢1人		
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人				
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
5	H28.2.1 ~ H28.2.7						

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第48週～2016年第5週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			3		1	1
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	1	1	1	1	1	
50	H27.12.7 ~ H27.12.13	2					
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	2	4	3			1
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	5			
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1		1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	3	2	2	1	
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	1	1				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2	4	1			

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第3週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	二類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	Dengue熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	
累積報告数	996	7	37	4	2	23	10	1	25	20	1	65	1	59	8	72	30	13	32	69	3	21	3	

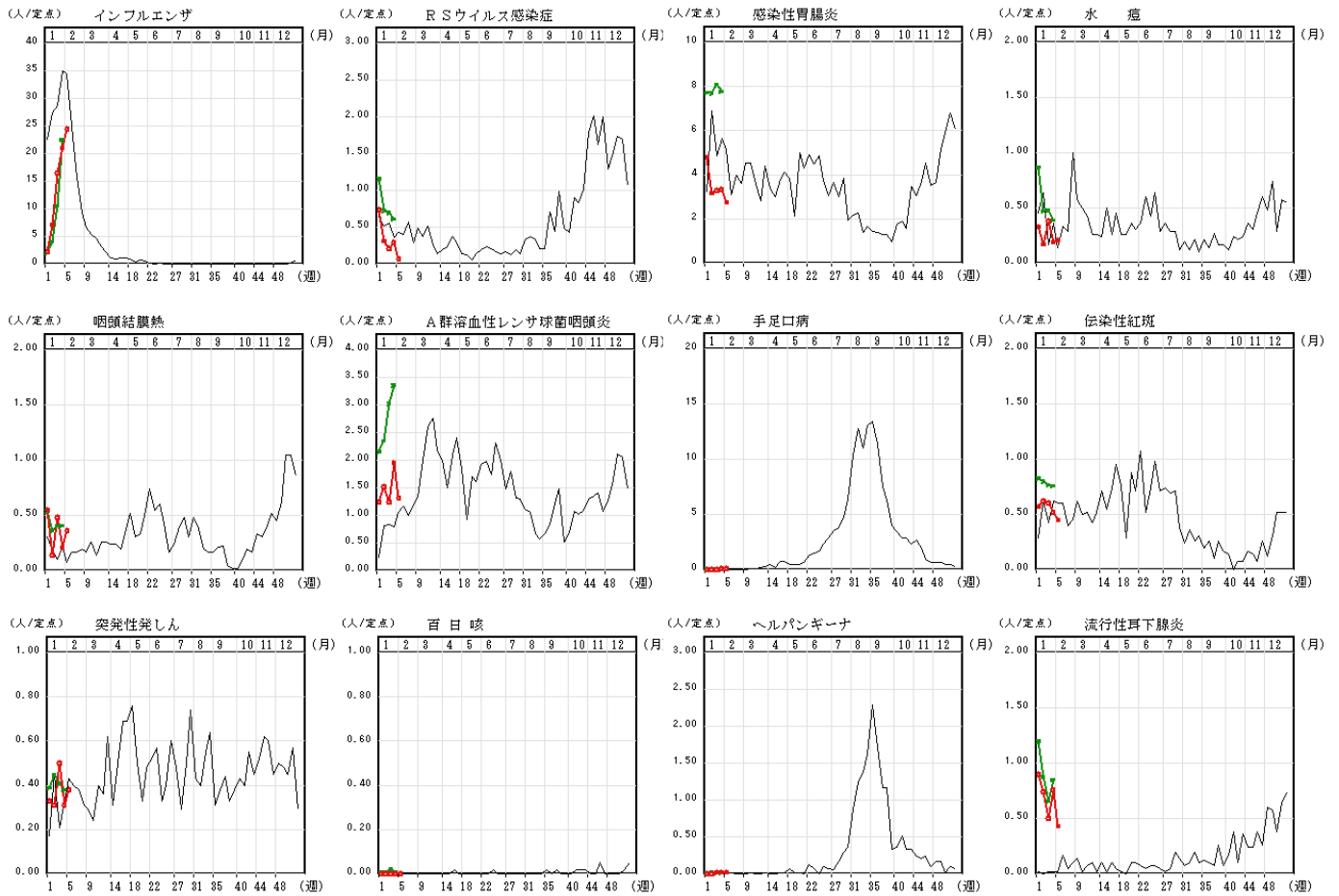
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	200	18	170	8	4	2	3	1	1

青森県 (2016年第1週～第5週累計)

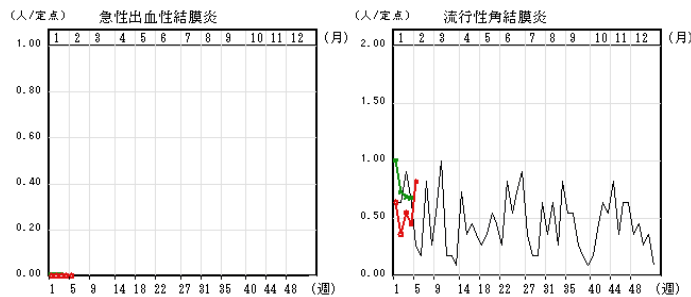
分類	二類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	水痘(入院例)
累積報告数	28	2	1	1	3	1	1	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第5週、但し全国は前週)

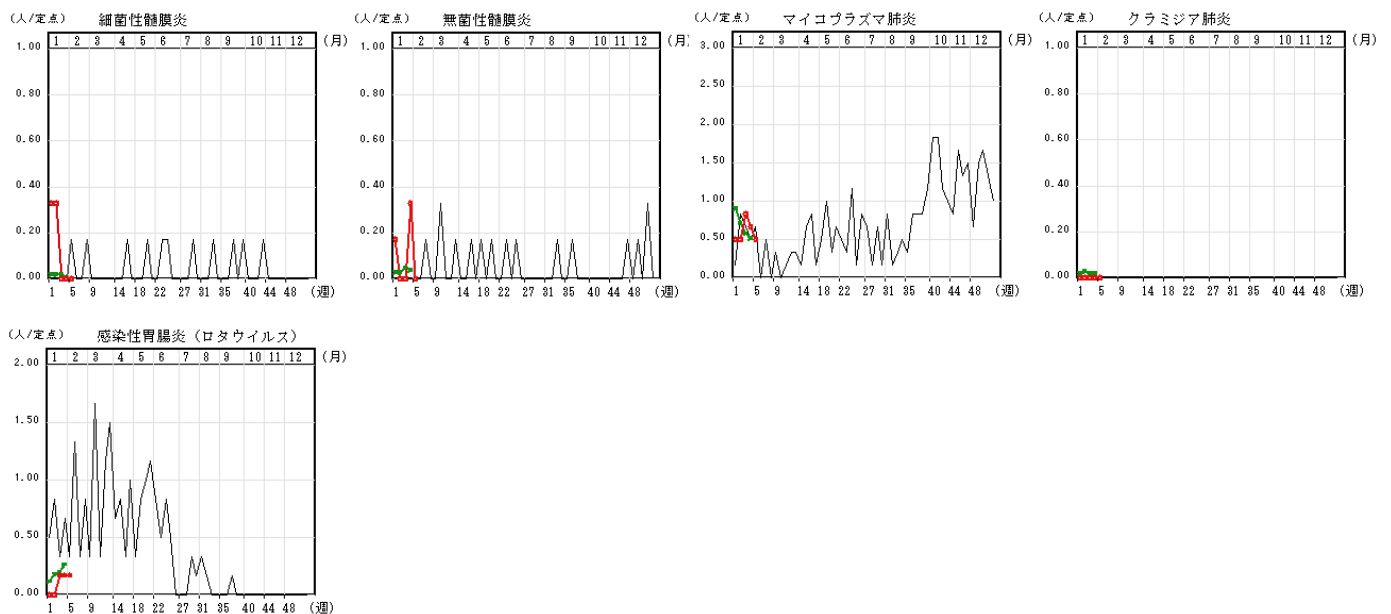
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第5週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第5週、但し全国は前週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第5週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第5週	介護・老人福祉関係施設	19	弘前保健所

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	計 (施設別)
		1-4週	5週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	1
	発症者数	0	19	19
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
障害関係施設	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
計(月別)	件数	0	1	1
	発症者数	0	19	19